

# 広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会 感染症解析評価部会]  
(平成13年5月解析分)

## 1 疾患別定点情報

定点把握(週報)四類感染症

平成13年4月分(4月2日~4月29日:4週間分)

疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	538	1.13	0.26	▲	12	麻疹	275	0.92	0.39	▲
2	咽頭結膜熱	22	0.07	0.08	▲	13	流行性耳下腺炎	332	1.11	0.96	◀
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	290	0.97	-	◀	14	急性出血性結膜炎	3	0.04	0.06	
4	感染性胃腸炎	1,348	4.49	5.41	▼	15	流行性角結膜炎	106	1.33	1.26	◀
5	水痘	506	1.69	1.53	▶	16	急性脳炎	2	0.02	-	
6	手足口病	21	0.07	0.14	◀	17	細菌性髄膜炎	0	-	0.04	
7	伝染性紅斑	178	0.59	0.30	◀	18	無菌性髄膜炎	6	0.07	0.18	
8	突発性発疹	218	0.73	0.65	▶	19	マイコプラズマ肺炎	6	0.07	-	
9	百日咳	1	0.00	0.03		20	クラミジア肺炎	0	-	-	
10	風疹	15	0.05	0.71		21	成人麻疹	3	0.04	-	
11	ヘルパンギーナ	33	0.11	0.06	◀	「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)					

急増減	増減	微増減	横ばい
▲	▲	◀	▶
▼	▼	◀	
前月と比較しておおむね1:2以上の増減	前月と比較しておおむね1:1.5~2の増減	前月と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	殆ど増減なし(発生件数少数のものを含む)

### 定点について

定点情報は、定点把握対象の四類感染症(週報対象21疾患,月報対象7疾患)について、県内186の定点医療機関からの報告を集計して作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD 定点	基幹定点	合計
対象疾患 No.	1	1~13	14, 15	22~25	16~21, 26~28	
定点数	44	75	20	26	21	186

この情報は、「<http://www.pref.hiroshima.jp/fukushi/kenkou/kansen/index.html>」のホームページに掲載しています。  
全国情報については、「<http://idsc.nih.go.jp/>」に  
インフルエンザホームページは、「<http://influenza-mhw.sfc.wide.ad.jp/>」に掲載されています。

疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
22	性器クラミジア感染症	58	0.26	1.41	↘	26	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染	123	5.10	-	↘
23	性器ヘルペスウイルス感染症	10	0.35	0.52		27	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	51	1.19	-	↑
24	尖圭コンジローム	20	0.85	0.27	↔	28	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0.62	-	
25	淋菌感染症	15	0.58	0.51	↔	「過去5年平均」：過去5年間の同時期平均（定点当り）					

麻疹 急増（3月170件 4月275件）  
 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 急増（3月25件 4月51件）  
 感染性胃腸炎 急減（3月3,764件 4月1,348件）  
 インフルエンザ 減少（3月1,721件 4月538件）  
 なお、全国でも3月187,929件 4月35,966件と減少

## 2 一類・二類・三類感染症及び全数把握四類感染症発生状況

一類感染症 発生なし  
 二類感染症 細菌性赤痢2件発生（広島市1件，尾三地域保健所管内1件）  
 三類感染症（腸管出血性大腸菌感染症） 2件発生  
 （広島市1件O157，尾三地域保健所管内1件O157）  
 全数把握四類感染症 7件発生（急性ウイルス性肝炎5件（A型4件，C型1件），  
 ツツガムシ病1件，梅毒1件）

## 3 麻疹（はしか）

・週報でもお知らせしていますが，麻疹が急増しています。

1月	2月	3月	4月
38 (0.13)	57 (0.19)	170 (0.45)	275 (0.92)

( )内定点当り件数

- ・地域別では，次の保健所内管内で，定点当り0.5以上と多発しています。  
 呉(0.65)，廿日市(2.15)，東広島(0.65)，福山(1.04)，三次(0.50)，呉市(0.79)，  
 福山市(2.56) ( )内は定点当り件数
- ・年齢別では  
 6～12か月10%，満年齢1才19%，2才12%，3才12%，4才7%，5才9%，6才8%と7才未満が約8割を占めています。
- ・全国的にも，北海道，高知県，奈良県，九州地方などで多発しています。
- ・麻疹は麻疹ウイルスを原因とする，感染力の強い感染症で，患者の鼻腔や咽喉頭の分泌物によって感染します。  
 主として幼児期に感染し，主な症状は発熱，せき，発疹ですが，肺炎や脳炎を合併する場合もあり，重症では死亡する場合があります。  
 また，最近では成人の麻疹も見られますので注意しましょう。

麻疹ワクチンの予防接種により，予防できます。  
 予防接種を忘れずに受けましょう。